



新幹線筑後船小屋駅前に停車中の西鉄バス

市長 実際に赤字補てんが予想される中で、現状をどう見て いるのか。

市長 今の時点では非常に利用しにくいダイヤになつて いる。柳川市・みやま市と一緒になつて、利用者の確保についての取り組みを強化しなけれ ばならないと思つて いる。

船小屋柳川バス路線の 乗客数は

矢加部 茂晴 議員

答 現在のところ厳しい状況になっている

筑後船小屋駅の利便性向上や周辺観光の活性化を目指し、筑後・みやま・柳川3市が西鉄側に働きかけ、JR筑後船小屋駅と西鉄柳川駅を結ぶバス路線が新設された。乗客数が当初見込みより少ないのではないか。

赤字補てんが予想される中で現状の認識は

特定健診と住民検診は

問 特定健診では平成24年度の受診率65%の目標値を達成しなければ、市は国保への支払増額が科せられるが。

市長 国保の40歳から74歳の被保険者8,400人を対象に実施している。目標達成のため、未受診者の戸別訪問などさらな

北島一雄議員 る市民への周知徹底等対策に取り組みたい。

市民課長 平成22年度の目標値49%に対して受診率は33・2%。平成24年度の目標値が達成不可能な場合、22年度の国民健保で言えば、最大5,150万円増額となる

北島一雄議員

特定健診と住民検診は

答 さらなる市民への周知徹底や未受診者対策に取り組みたい

歯周疾患検診・妊婦歯科検診は必要

健康づくり課長 福岡県
内で歯周疾患検診は十数
団体、妊婦歯科検診は3
団体が実施しており、必
要性は十分認識している。
今まで、がん検診の受診
率向上に力を注いできた
ので、歯科検診実施には
至っていない。
鬼丸副市長 歯周疾患の
重要性には思い入れがあ
る。今後十分に精査して、
対応ができる分はしてい
きたい。

問 定期健診として歯周疾患検診や妊婦歯科検診の実施が必要ではないか。

歯周疾患検診や
妊婦歯科検診の
実施が必要では

平成 24 年 2 月 1 日 ちくご市議会だより No.28 10